

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-134280

(43) 公開日 平成11年(1999) 5月21日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>

識別記号

F I

G 0 6 F 13/00

3 5 4

G 0 6 F 13/00

3 5 4 Z

G 0 6 K 17/00

G 0 6 K 17/00

L

H 0 4 N 1/44

H 0 4 N 1/44

審査請求 未請求 請求項の数 6 F D (全 9 頁)

(21) 出願番号

特願平9-311044

(22) 出願日

平成9年(1997)10月28日

(71) 出願人 000002897

大日本印刷株式会社

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

(72) 発明者 工藤 雄大

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

(72) 発明者 大湯 慶子

東京都新宿区市谷加賀町一丁目1番1号

大日本印刷株式会社内

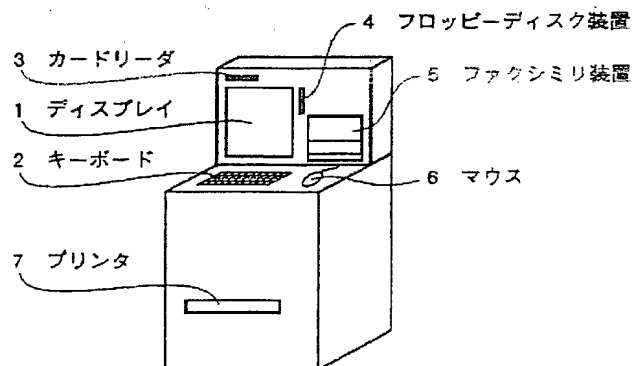
(74) 代理人 弁理士 小西 淳美

(54) 【発明の名称】 ビジネス端末

(57) 【要約】

【課題】 外出先においてビジネスサポートを行うビジネス端末を提供する。

【解決手段】 画像表示により情報を提供するディスプレイと、指示入力やデータ入力を行うための入力手段と、前記利用者を特定するIDデータが記録されているカードを読み取るカードリーダーと、利用者が前記入力手段において行うファクシミリ通信サービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、ファクシミリ通信を行う環境を前記利用者に提供するファクシミリ通信手段と、を有するビジネス端末。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】画像表示により情報を提供するディスプレイと、  
指示入力やデータ入力を行うための入力手段と、  
前記利用者を特定するIDデータが記録されているカードを読み取るカードリーダーと、  
利用者が前記入力手段において行うファクシミリ通信サービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、ファクシミリ通信を行う環境を前記利用者に提供するファクシミリ通信手段と、  
を有することを特徴とするビジネス端末。

【請求項2】利用者が前記入力手段において行う電子メールサービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、電子メールの送受信を行う画面を前記ディスプレイに表示し、電子メールの送受信を行う環境を前記利用者に提供する電子メール管理手段を有することを特徴とする請求項1記載のビジネス端末。

【請求項3】利用者が前記入力手段において行う複写サービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、複写サービスを行う画面を前記ディスプレイに表示し、複写を行う環境を前記利用者に提供する複写管理手段を有することを特徴とする請求項1または2記載のビジネス端末。

【請求項4】利用者が前記入力手段において行うインターネット接続サービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、インターネットを利用する画面を前記ディスプレイに表示し、インターネットを利用する環境を前記利用者に提供するインターネット管理手段を有することを特徴とする請求項1～3のいずれか記載のビジネス端末。

【請求項5】前記カードリーダーによって、前記カードに複数のファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先のアドレスデータの書き込みを行うとともに、前記カードからそのデータの読み取りを行い、前記ディスプレイによって、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の選択画面を表示し、利用者が前記入力手段において行う選択入力に基づいて、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定を行うアドレスデータ管理手段を有することを特徴とする請求項1～4のいずれか記載のビジネス端末。

【請求項6】前記ビジネス端末はサーバコンピュータと通信回線によって接続されており、前記電子メールのデータを含むデータを前記サーバコンピュータに送信し、前記サーバコンピュータが送信するデータを受信するデータ送受信手段を有することを特徴とする請求項2～5のいずれか記載のビジネス端末。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明はビジネスサポートを行うためのビジネス端末の技術分野に属する。特に、会員が所有するカードをビジネス端末のリーダーに読み取らせることにより、簡単な操作で迅速なファクシミリ通信や電子メール送受信のサービスを受けることができるビジネス端末に関する。

## 【0002】

【従来の技術】ファクシミリ通信を行う場合には、ファクシミリ装置が設置されている場所において、通信先を指定し原稿を読み取らせることが行われる。また、電子メール送受信を行う場合には、通信回線に接続されているコンピュータシステムにおいて電子メール機能を有するアプリケーションを立ち上げ、所定の手順に従って複雑な操作が行われる。このように、オフィス等の特別な環境が整えられた場所においてだけ、ファクシミリ通信や電子メール送受信が行われている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、オフィス以外の場所で、たとえば外出先においてファクシミリ通信や電子メール送受信を行いたい場合には、それを行えるような環境が整っている適当な場所がなく、実行することができない。そこで本発明の目的は、外出先においてビジネスサポートを行うビジネス端末を提供することにある。本発明のビジネス端末は、多くの人が集まる街頭、ホテル、オフィスビル、デパート、商店の一角、等に設置することができる。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】上記の目的は下記の本発明によって達成される。すなわち、本発明は「画像表示により情報を提供するディスプレイと、指示入力やデータ入力を行うための入力手段と、前記利用者を特定するIDデータが記録されているカードを読み取るカードリーダーと、利用者が前記入力手段において行うファクシミリ通信サービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、ファクシミリ通信を行う環境を前記利用者に提供するファクシミリ通信手段と、を有するビジネス端末」である。本発明によれば、ディスプレイの画像表示により情報が提供され、入力手段により利用者は指示入力を行い、カードリーダーによりその利用者を特定するIDデータが記録されているカードが読み取られ、利用者が入力手段において行うファクシミリ通信サービスを利用する指示入力とカードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、ファクシミリ通信手段によりファクシミリ通信を行う環境が利用者に提供される。したがって、外出先においてファクシミリ通信のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。

【0005】また本発明は「利用者が前記入力手段において行う電子メールサービスを利用する指示入力と前記カードリーダーにおいて行う所有するカードの読み取りと

に基づいて、電子メールの送受信を行う画面を前記ディスプレイに表示し、電子メールの送受信を行う環境を前記利用者に提供する電子メール管理手段を有するビジネス端末」である。本発明によれば、利用者が前記入力手段において行う電子メールサービスを利用する指示入力と前記カードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、電子メール管理手段により電子メールの送受信を行う画面がディスプレイに表示され、電子メールの送受信を行う環境が利用者に提供される。したがって、外出先において電子メール送受信のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。

【0006】また本発明は「利用者が前記入力手段において行う複写サービスを利用する指示入力と前記カードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、複写サービスを行う画面を前記ディスプレイに表示し、複写を行う環境を前記利用者に提供する複写管理手段を有するビジネス端末」である。本発明によれば、利用者が前記入力手段において行う複写サービスを利用する指示入力と前記カードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、複写管理手段により複写サービスを行う画面がディスプレイに表示され、複写を行う環境が利用者に提供される。したがって、外出先において複写のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。

【0007】また本発明は「利用者が前記入力手段において行うインターネット接続サービスを利用する指示入力と前記カードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、インターネットを利用する画面を前記ディスプレイに表示し、インターネットを利用する環境を前記利用者に提供するインターネット管理手段を有するビジネス端末」である。本発明によれば、利用者が前記入力手段において行うインターネット接続サービスを利用する指示入力と前記カードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、インターネット管理手段によりインターネット接続サービスを行う画面がディスプレイに表示され、インターネットを利用する環境が利用者に提供される。したがって、外出先においてインターネットのビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。

【0008】また本発明は「前記カードリーダによって、前記カードに複数のファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先のアドレスデータの書き込みを行うとともに、前記カードからそのデータの読み取りを行い、前記ディスプレイによって、ファクシミリ通信先そして、または電子メール宛先の選択画面を表示し、利用者が前記入力手段において行う選択入力に基づいて、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定を行うアドレスデータ管理手段を有するビジネス端末」である。本発明によれば、アドレスデータ管理手段により、カードリーダがカードに複数のファクシミリ通信先

そして／または電子メール宛先のアドレスデータの書き込みを行うとともにカードからそのデータの読み取りを行い、ディスプレイがファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の選択画面を表示し、利用者が入力手段において行う選択入力に基づいてファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定が行われる。したがって、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定を容易に行うことができる。

【0009】また本発明は「前記ビジネス端末はサーバコンピュータと通信回線によって接続されており、前記電子メールのデータを含むデータを前記サーバコンピュータに送信し、前記サーバコンピュータが送信するデータを受信するデータ送受信手段を有するビジネス端末」である。本発明によれば、前記ビジネス端末はサーバコンピュータと通信回線によって接続されており、データ送受信手段により前記電子メールのデータを含むデータが前記サーバコンピュータに送信され、前記サーバコンピュータが送信するデータが受信される。したがって、サーバコンピュータを経由してサーバコンピュータに接続された他のビジネス端末を含む各種のシステムと電子メールの送受信を行うことができる。

【0010】

【発明の実施の形態】次に、本発明について実施の形態により説明する。図1は本発明のビジネス端末の外観と構成の一例を示す図である。図1において、1はカラーCRTディスプレイやカラー液晶ディスプレイ等のディスプレイ、2はキーボード、3はカードリーダ、4はフロピイデスク装置、5はファクシミリ装置、6はマウス、7はプリンタである。また、図1においては特に示していないが、通常は、スピーカー、データ処理装置、通信回線、等が設けられている。

【0011】図2は本発明のビジネス端末の構成の一例を示すブロック図である。図2において、図1と同一部分には同一番号を付してある。1はディスプレイ、2はキーボード、3はカードリーダ、4はフロピイデスク装置、5はファクシミリ装置、6はマウス、7はプリンタ、21はデータ処理装置、22はファクシミリ通信手段、23は電子メール管理手段、24は複写管理手段、25はインターネット管理手段、26はアドレスデータ管理手段、27はデータ送受信手段、28は通信回線である。

【0012】データ処理装置21はワークステーション、パーソナルコンピュータ、マイクロコンピュータ等のハードウェアとソフトウェアから成る。図2に示すように、ディスプレイ1、キーボード2、カードリーダ3、フロピイデスク装置4、ファクシミリ装置5、マウス6、プリンタ7はデータ処理装置21の端末装置である。ファクシミリ通信手段22、電子メール管理手段23、複写管理手段24、インターネット管理手段25、アドレスデータ管理手段26、データ送受信手段27

7はデータ処理装置21のハードウェアとソフトウェアから成る。通信回線28はビジネス端末とサーバコンピュータ(図3参照)との間でデータ通信を行うための通信回線である。

【0013】図1、図2に基づいて本発明のビジネス端末の動作を説明する。利用者がビジネス端末を利用して情報を得る場合には、まず、利用者は会員カードをカードリーダー3に挿入することにより会員カードに記録されたデータを読み取らせる。会員カードとしては、たとえば、磁気テープ記録部を有する磁気カード、ICチップを内蔵するICカード、等を使用することができる。その会員カードの磁気テープ記録部そして/またはICチップには、すくなくとも会員を特定するためのID情報が記憶されている。また、その他の情報を記憶することができる。会員カードがプリペイドカードとして使用される場合には、プリペイド金額を記憶する。また、ビジネス端末の今回の利用が前回までの利用に関連付けられている(継続利用の形態)である場合には、前回までの利用に関連する情報を記憶する。また、会員本人や他の結びつきのある会員の情報、たとえば会員名、住所録、会員ID、等の情報を記憶することができる。

【0014】会員カードがカードリーダー3に挿入されると、ビジネス端末のカードリーダー3は会員カードに記録されたデータを読み取る。少なくともID情報が読み取られ、データ処理装置21において登録された正規の会員で有るか否かが判定される。この判定を行うためにデータ処理装置21のデータ送受信手段により通信回線28を通じてサーバコンピュータとID情報に関するデータの送受信を行うことができる。データ処理装置21単独の認証システム、またはサーバコンピュータを含めた認証システムにより登録された正規の会員で有るか否かが判定される。この認証には、会員カードに記録されたID情報と会員が記憶する暗証番号を併用する周知の認証方法を用いることができる。

【0015】正規の会員でないと判定された場合には、その旨がディスプレイ1に表示され会員としてのビジネス端末の利用はできない。正規の会員であると判定された場合には、ディスプレイ1はビジネス端末のおもとの画面であるルート画面を表示する。利用者はルート画面から始めて希望するサービスを受けるための画面に進むことができるようにルート画面は構成されている。

【0016】そのルート画面から希望するサービスの画面に進むため、利用者はキーボード2またはマウス6において指示入力を行う。この指示入力は、たとえば、所定の画面に表示されている番号を付された選択肢の内から、選択対象の番号をキーボード2から入力することにより行われる。あるいは、この指示入力は、所定の画面に表示されている指示ポイントをマウス6を操作して移動し選択肢の内の一つに置いてマウス6の選択ボタンを

クリックすることにより行われる。ルート画面に表示されている選択肢、すなわち提供されるサービスには、「ファクシミリ」、「電子メール」、「複写」、「インターネット」、「アドレス帳」、等があり、これらの内から1つが選択される。

【0017】まず、「ファクシミリ」が選択された場合の説明を行う。「ファクシミリ」が選択されると、ファクシミリ通信手段22が起動しファクシミリサービスを受けるためのファクシミリ画面がディスプレイ1に表示される。ファクシミリ通信手段22は、このファクシミリ通信を行うためのファクシミリ画面をディスプレイ1に表示するとともに、以下に説明するファクシミリ通信に関するデータ処理と管理を行う。ファクシミリ画面には宛先の記入欄が設けられており、利用者はキーボード2からその宛先記入欄に宛先を記入する。宛先は、通常はファクシミリ通信を行う先の電話番号である。宛先としては、ファクシミリ番号(電話番号)だけでなく、宛先の氏名(個人)または名称(会社)、ビジネス端末の会員のID番号、等の宛先を特定するデータを用いることができる。

【0018】ファクシミリ画面には「アドレス帳」の画面(アドレス帳画面)を開く(ディスプレイ1に表示する)アイコンが設けられている。そのアイコンをマウスの指示ポイントで指示しマウスボタンをクリックすることにより、アドレスデータ管理手段25が起動し、アドレス帳画面が開かれる。このアドレス帳画面において、氏名または名称、ファクシミリ番号、会員のID番号を検索することができる。すなわち、氏名または名称、ファクシミリ番号、会員のID番号の内のいずれかの全部または一部のデータを入力することにより、そのデータを含む氏名または名称、ファクシミリ番号、会員のID番号の一覧表が表示される。氏名(たとえば、山田太郎)の全部を入力して検索を行うと、その氏名と一致する、氏名(山田太郎)、ファクシミリ番号、会員のID番号の一覧表が表示される。氏名の内の「山田」だけを入力して検索を行うと、その氏名と一致する、氏名(山田\*\*；\*は任意の文字)、ファクシミリ番号、会員のID番号の一覧表が表示される。

【0019】アドレスデータ管理手段25は検索対象となる宛名データベースを有する。この宛名データベースはデータ処理装置5のメモリに設けることができる。また、通信回線28を介して接続されているビジネス端末のサーバコンピュータ(図3参照)のメモリに設けることができる。また、利用者は会員カードの記憶部に複数の宛名または宛先ID等を記憶させておくことができ、アドレスデータ管理手段25は、この会員カードの記憶部に記憶させておいたデータを宛名データベースのデータとともに検索することができる。また、アドレスデータ管理手段25によって利用者が会員カードの記憶部に記憶させたデータを別の一覧表としてディスプレイ

1に表示して、利用者はその内から1つを選択することができる。ファクシミリ画面からアドレス帳画面を開いた場合には、アドレス帳画面の一覧表の内から選択を行うと、その選択した宛先は、ファクシミリ画面の宛先の記入欄に記入される。

【0020】また、ファクシミリ画面には検索ボタンが設けられている。たとえば、ファクシミリ画面の宛先の記入欄は氏名記入欄、ファクシミリ番号記入欄、会員のID番号記入欄の3つの記入欄によって構成されているものとする。氏名記入欄に氏名(たとえば、山田太郎)を記入して、検索ボタンをマウスの指示ポイントで指示しマウスボタンをクリックすると、アドレスデータ管理手段26が起動し、登録されているデータの検索が行われる。その氏名と一致するデータが登録されているデータの内に存在すれば、氏名(山田太郎)、ファクシミリ番号、会員のID番号がそれら記入欄に記入される。その氏名と一致するデータが登録されているデータの内に存在しない場合には、その旨を告げる表示が行われ、氏名記入欄を除くファクシミリ番号記入欄と会員のID番号記入欄とは空欄のままとなる。

【0021】ファクシミリ画面にはスタートボタンが設けられている。ファクシミリ画面の宛先の記入欄に宛先を記入した後、ファクシミリ装置5にファクシミリ通信を行う書類をセットして、ファクシミリ画面のスタートボタンをマウスの指示ポイントで指示しマウスボタンをクリックする。これにより、その書類はファクシミリ装置5によって読み取られる。その書類の読み取りによって得られるデータはデータ処理装置21のメモリ(図示せず)に一時記憶される。

【0022】ファクシミリ通信手段22は一時記憶されているデータを通信回線28を通じて宛先へファクシミリ通信する処理を行い、その処理が完了するとデータ処理装置21のメモリに一時記憶されているそのデータを消去する。このファクシミリ通信する処理はファクシミリ通信手段22が直接的に公衆通信回線にデータを出力して行うことができる。また、データ送受信手段27にデータを受け渡しデータ送受信手段27から通信回線28を介してサーバーコンピュータ(図3参照)にデータ転送し、サーバーコンピュータから公衆通信回線にデータを出力して行うことができる。

【0023】また、ビジネス端末を利用する会員相互の間でファクシミリ通信を行うことができる。この場合は、宛先の記入欄において、ファクシミリ番号(電話番号)記入欄は空白とし、かつ氏名の記入欄と会員のID番号記入欄が記入されているものとする。その場合、ファクシミリ通信のデータはビジネス端末からビジネス端末へと受け渡しが行われる。すなわち、ファクシミリ通信22はデータ送受信手段27にデータを受け渡しデータ送受信手段27から通信回線28を介してサーバーコンピュータにデータ転送する。サーバーコンピュータは

そのデータをそのメモリに一時記憶する。

【0024】そして、そのファクシミリ通信の宛先の会員がビジネス端末(何処に設置されているビジネス端末であってもよい)を利用すると、サーバーコンピュータからそのビジネス端末にその会員宛てのファクシミリ通信のデータが届いていること表示データがデータ転送される。そのビジネス端末のディスプレイ1には、その旨のメッセージが表示される。そのビジネス端末においてファクシミリ通信のデータの受信をキーボード2またはマウス6により指示入力すると、サーバーコンピュータからファクシミリ通信のデータがそのビジネス端末にデータ転送されデータ処理装置21のメモリに一時記憶される。一時記憶されているファクシミリ通信のデータはディスプレイ1に表示して利用者(宛先の会員)が見ることができる。また、プリンタ7によって印刷を行い印刷物として得ることができる。また、フロッピーディスク装置4により、フロッピーディスクのファイルとして保存することができる。

【0025】次に、「電子メール」が選択された場合の説明を行う。「電子メール」が選択されると、電子メール管理手段23が起動し電子メールサービスを受けるための電子メール画面がディスプレイ1に表示される。電子メール管理手段23は、この電子メールの送受信を行うための電子メール画面をディスプレイ1に表示するとともに、以下に説明する電子メールの送受信に関するデータ処理と管理を行う。この電子メールの送受信を行うための電子メール画面には、関連する操作の内の一つを選択するための選択肢が表示されている。たとえば、利用者に宛てて送信された電子メールの一覧表を表示するための「受信電子メール一覧表」、利用者が送信した電子メールの一覧表を表示するための「送信電子メール一覧表」、利用者が送信する電子メールを編集するための「電子メール編集」、等である。

【0026】利用者が「受信電子メール一覧表」を選択することにより、その利用者に宛てて送信された電子メールの一覧表がディスプレイ1に表示される。この一覧表には、たとえば、過去6ヶ月の間の受信電子メールのすべてが一覧表として表示される。受信電子メールの一覧表には、送信日、送信者名、送信者ID、件名、開封日または未開封、等の表示項目があり、各々の電子メールの属性としてその項目の表示が行われる。

【0027】利用者が受信電子メールの一覧表の内から一つを選択すると、その電子メールが開かれ、その本文がディスプレイ1に表示される。すなわち、電子メール管理手段23の管理下においてデータ送受信手段27が通信回線28を介してその電子メールのデータの転送を受ける。その電子メールが文字データだけでなく画像データや音声データを含むものであれば、同時に画像データや音声データの転送を受ける。その場合、本体データとしてのメールデータとともに付随データとしての画像

データ、音声データがデータ処理装置のメモリに格納される。電子メール管理手段23はこれらのデータに基づいてディスプレイ1に表示するデータを生成する。ディスプレイ1はその生成されたデータを表示する。

【0028】音声データがある場合には、ディスプレイ1には音声データがあることを示す画面が文字データや画像データとともに表示される。その場合は、キーボード2またはマウス6から音声再生の指示入力を利用者が行うことにより、音声データはビジネス端末のスピーカーから出力される。

【0029】利用者は、キーボード2またはマウス6から指示入力することにより、ディスプレイ1に表示されている電子メールの内容をプリンタ7から出力することができる。また利用者は、キーボード2またはマウス6から指示入力することにより、ディスプレイ1に表示されている電子メールの内容および音声データ16を、メモリを内蔵する会員カードまたはフロッピーディスク装置4に装着したフロッピーディスクにダウンロードすることができる。

【0030】利用者は、キーボード2またはマウス6から指示入力することにより、返信を行うことができる。返信のために利用者が行う操作は、宛先や件名を新たに入力する必要がない点を除いて、新規に電子メールの送信を行う操作と同様である。電子メールの送信を行う場合には、まず、「送信電子メール一覧表」の表示を行う。すなわち、前述した電子メール画面において「送信電子メール一覧表」を選択することにより、その利用者が送信した電子メールの一覧表がディスプレイ1に表示される。この一覧表には、たとえば、過去6ヶ月の間の送信電子メールのすべてが一覧表として表示される。送信電子メールの一覧表には、送信日、宛先名、宛先ID、件名、開封日または未開封、等の表示項目があり、各々の電子メールの属性としてその項目の表示が行われる。

【0031】利用者が送信電子メールの一覧表の内から一つを選択すると、その電子メールが開かれ、その本文がディスプレイ1に表示される。利用者が送信電子メールを開くのは、内容や宛先で開封されたか否か等を確認したり、プリンタ7に出力する等によりデータを保存する場合である。送信電子メールの場合のデータ処理過程は前述した受信電子メールの場合と基本的に同様のデータ処理過程であるから、その説明は省略する。

【0032】「送信電子メール一覧表」の表示がディスプレイ1において行われているときに、利用者は入力パネル3において電子メール編集の指示入力を行うことにより、送信電子メールの編集を行うことができる。これは、前述の電子メール画面において「電子メール編集」を選択する指示入力を行っても同様である。これにより、ディスプレイ1は利用者が送信する電子メールを編集するための表示を行う。このディスプレイ1に表示さ

れた電子メールの編集画面において、利用者は文字データ、画像データ、音声データのすべてまたは一部の入力を行う。

【0033】文字データの inputs は、電子メール編集画面において文字データ入力の指示入力を行った上で、キーボード2から行う。データ処理装置21は入力された文字データをメールデータとしてメモリに保存する。電子メール管理手段23はメールデータに基づいてディスプレイ1に表示するデータを生成する。ディスプレイ1はそのデータ、すなわち、利用者がキーボード2から入力した文字を表示する。

【0034】画像データの inputs は、電子メール編集画面において画像データ入力の指示入力を行った上で、画像入力手段から入力を行う。たとえば、利用者は入力したい画像を、その画像が記録された用紙、写真、等のシートの形態で準備しておき、そのシートを画像入力手段であるファクシミリ装置5、ビデオカメラ(図示せず)、フラットベッドスキャナー(図示せず)等によって読み取らせる。データ処理装置21はその読み取った画像データをメモリに保存するとともに、その画像が含まれていることを示すデータをメールデータに保存する。

【0035】音声データの inputs は、電子メール編集画面において音声データ入力の指示入力を行った上で、音声入力手段から入力を行う。たとえば、利用者は音声入力手段であるマイクロフォン(図示せず)に向かって発声したり、再生機をビジネス端末に持込み、録音した音声データを再生する。データ処理装置21は入力された音声を音声データとしてメモリに保存するとともに、その音声が含まれていることを示すデータをメールデータに保存する。

【0036】電子メール編集画面においては、上記の文字データ、画像データ、音声データを入力するだけでなく、それらのデータを修正、変形することや編集するページに配置することができる。文字データと画像データについては編集技術は周知であるから、ここでは説明を省略する。音声データは、電子メールに音声データが含まれる場合には(音声データだけの場合も同様)、電子メール管理手段23によって音声データの再生を指示入力する画面が自動生成され、編集するページに配置される。音声データの再生を指示入力する画面は、たとえば、カセットテープやコンパクトディスク再生装置の操作パネルのように、再生、停止、早送り、巻戻し、の各ボタンや、選曲ボタン(選択ボタン)等が配置されている。

【0037】電子メールの編集が終了し、利用者が終了の指示入力を行うと電子メール管理手段23によりディスプレイ1に電子メールの送信画面が表示される。電子メールの送信画面において、利用者は、宛先名または宛先ID等の所定の事項を入力または指定する。すでに説明したように、返信の場合には宛先名または宛先IDを

10

20

30

40

50

入力または指定する必要はない。この宛先を設定する方法は、すでに説明したファクシミリ通信の場合と同様であるから、ここでは説明を省略する。

【0038】電子メールの送信画面において所定の事項を入力または指定を行った後に、送信の指示入力を行うと、電子メール管理手段23の管理下においてデータ送受信手段27は、通信回線28を介して、電子メールのデータ、すなわち、メールデータ、画像データ、音声データを、サーバーコンピュータにデータ転送する。送信の指示入力を行う際に、宛先への送達日を指定する（記念日に合わせて送達する、等）等の、送信にともなう設定を行うことができる。

【0039】次に、「複写」が選択された場合の説明を行う。「複写」が選択されると、複写管理手段24が起動し複写サービスを受けるための複写画面がディスプレイ1に表示される。複写管理手段24は、複写を行うための複写画面をディスプレイ1に表示するとともに、複写に関するデータ処理と管理を行う。この複写を行うための複写画面には、ファクシミリ装置5を利用した複写の手順が説明文とイラストによって表示されており、その手順にしたがって操作を行うことにより書類の複写を行うことができる。たとえば、複写する書類をファクシミリ装置5にセットして、複写画面において同一書類の複写枚数、拡大縮小率、片面複写と両面複写の別、等を指示入力することによりその書類の複写を行うことができる。

【0040】次に、「インターネット」が選択された場合の説明を行う。「インターネット」が選択されると、インターネット管理手段25が起動しインターネットサービスを受けるためのインターネット画面がディスプレイ1に表示される。インターネット管理手段25は、インターネットを利用するためのインターネット画面をディスプレイ1に表示するとともに、インターネットに関するデータ処理と管理を行う。このインターネットを行うためのインターネット画面は、周知のインターネットを利用するためブラウザの機能を有する。

【0041】次に、サーバーコンピュータを含む本発明のビジネス端末を用いた全体システムについて説明する。図3は本発明のビジネス端末を用いた全体システムの一例を示す説明図である。図3において、31a、31b、31cは各々がビジネス端末、32はサーバーコンピュータ、28a、28b、28cは各々が通信回線である。また、33は会員カードである。

【0042】まず、会員カード33の発行について説明する。ビジネス端末は会員専用の端末あるいは会員と非会員とでは利用できるサービスに違いが設けられている端末であり、ビジネス端末を会員として利用する場合には会員になる必要がある。会員になるためには、会員になりたい者が会員受付窓口において会員登録を行い会員カードの発行を受けなければならない。会員登録におい

ては、会員についての一般的な属性、すなわち、住所、氏名、異名（会員の間で通用する任意の名前、芸名、ペンネーム、等）、年齢、性別、職業、趣味、他の会員に伝えるメッセージ、顔写真、電子メールアドレス、クレジットカードの番号、有効期限、等の情報の一部または全てが登録される。

【0043】そして、発行される会員カード33には、会員本人であることを証明する顔写真の表示部、ID情報が記録された磁気テープ記録部やICチップ等のデータ記憶部が設けられている。会員カード33にビジネス端末の利用料金のプリペイド機能を持たせる場合には、記憶部にはプリペイド金額が記憶される。また、他の会員のID情報を格納する住所録となる記憶部分、ビジネス端末を利用して得るポイントデータの記憶部分、利用履歴に関するデータの記憶部分、等の記憶部分が設けられる。

【0044】次に、発行された会員カードを利用するビジネス端末31a、31b、31c、サーバーコンピュータ32、等について説明する。図3に示すように、複数あるビジネス端末31a、31b、31cは通信回線28a、28b、28cを介してサーバーコンピュータ32と接続している。すなわち、通信回線28a、28b、28cを通じて、複数あるビジネス端末31a、31b、31cからサーバーコンピュータ32にデータを転送し、サーバーコンピュータ32から、各々のビジネス端末31a、31b、31cにデータを転送することができる。また、サーバーコンピュータ32を経由して、複数あるビジネス端末31a、31b、31cの間でのデータ転送を実質的に行うことができる。

【0045】サーバーコンピュータ32は、前述したように、各々のビジネス端末31a、31b、31cからデータ転送される、ファクシミリ通信、電子メール等のデータを受け取り、サーバーコンピュータ32のメモリに記憶するとともに、そのデータに対して適切な処理を行う。たとえば、各々のビジネス端末31a、31b、31cからの電子メールやファクシミリ等のデータ転送要求にしたがって、そのデータを転送する。また、宛先であるファクシミリ番号（電話番号）にFAXするファクシミリデータの場合には、前述のように、ビジネス端末31a、31b、31cから直接FAXしてもよいが、サーバーコンピュータ32がその処理を行うことができる。

【0046】また、サーバーコンピュータ32は、会員に関するデータベースの管理システムとしての役割である。ビジネス端末31a、31b、31cからの要求にしたがって、会員の氏名（または名称）、ID番号等から電子メールやファクシミリ等のデータ転送の宛先を検索するサービスをサーバーコンピュータ32は提供する。

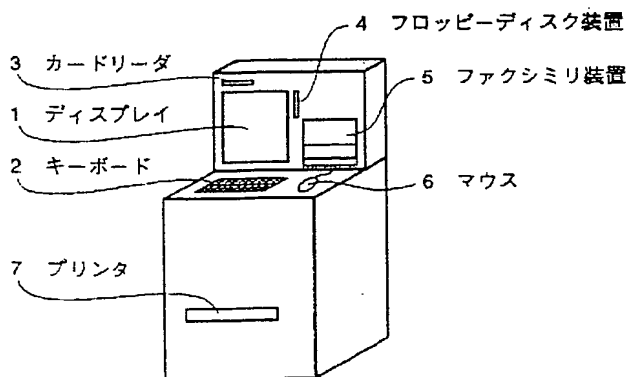
【0047】

13

【発明の効果】以上のように本発明によれば、外出先においてファクシミリ通信のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。また、利用者が入力手段において行う電子メールサービスを利用する指示入力とカードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、電子メールの送受信を行う画面をディスプレイに表示し、電子メールの送受信を行う環境を利用者に提供する電子メール管理手段を有する本発明によれば、外出先において電子メール送受信のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。また、利用者が入力手段において行う複写サービスを利用する指示入力とカードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、複写サービスを行う画面をディスプレイに表示し、複写を行う環境を利用者に提供する複写管理手段を有する本発明によれば、外出先において複写のビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。また、利用者が入力手段において行うインターネット接続サービスを利用する指示入力とカードリーダにおいて行う所有するカードの読み取りとに基づいて、インターネットを利用する画面をディスプレイに表示し、インターネットを利用する環境を利用者に提供するインターネット管理手段を有する本発明によれば、外出先においてインターネットのビジネスサポートを行うビジネス端末が提供される。

【0048】また、カードリーダによって、カードに複数のファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先のアドレスデータの書き込みを行うとともに、カードからそのデータの読み取りを行い、ディスプレイによって、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の選択画面を表示し、利用者が入力手段において行う選択入力に基づいて、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定を行うアドレスデータ管理手段を有する本発明によれば、ファクシミリ通信先そして／または電子メール宛先の設定を容易に行うことができる。

【図1】



14

また、ビジネス端末はサーバコンピュータと通信回線によって接続されており、電子メールのデータを含むデータをサーバコンピュータに送信し、サーバコンピュータが送信するデータを受信するデータ送受信手段を有する本発明によれば、サーバコンピュータを経由してサーバコンピュータに接続された他のビジネス端末を含む各種のシステムと電子メールの送受信を行うことができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のビジネス端末の外観と構成の一例を示す図である。

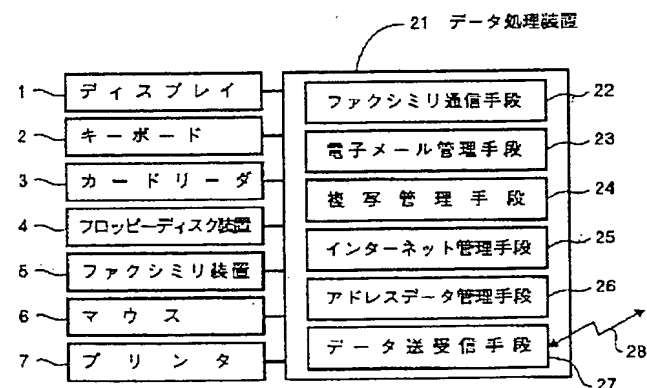
【図2】本発明のビジネス端末の構成の一例を示すブロック図である。

【図3】本発明のビジネス端末を用いた全体システムの一例を示す説明図である。

【符号の説明】

- 1 ディスプレイ
- 2 キーボード
- 3 カードリーダ
- 4 フロッピーディスク装置
- 5 ファクシミリ装置
- 6 マウス
- 7 プリンタ
- 21 データ処理装置
- 22 ファクシミリ通信手段
- 23 電子メール管理手段
- 24 複写管理手段
- 25 インターネット管理手段
- 26 アドレスデータ管理手段
- 27 データ送受信手段
- 28, 28a, 28b, 28c 通信回線
- 31a, 31b, 31c ビジネス端末
- 32 サーバコンピュータ

【図2】





【図3】

